



2019年3月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

2019年2月5日

上場会社名 不二サッシ株式会社

上場取引所 東

コード番号 5940 URL <http://www.fujisash.co.jp>

代表者 (役職名) 代表取締役社長

(氏名) 吉田 勉

問合せ先責任者 (役職名) 管理本部経営管理部長

(氏名) 塩原 和己

TEL 03-6867-0777

四半期報告書提出予定日 2019年2月5日

配当支払開始予定日 —

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 2019年3月期第3四半期の連結業績(2018年4月1日～2018年12月31日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2019年3月期第3四半期	59,585	0.3	△1,591	—	△1,702	—	△2,116	—
2018年3月期第3四半期	59,415	1.3	△766	—	△857	—	△664	—

(注) 包括利益 2019年3月期第3四半期 △2,252百万円 (—%) 2018年3月期第3四半期 △315百万円 (—%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
2019年3月期第3四半期	△16.78	—
2018年3月期第3四半期	△5.27	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
2019年3月期第3四半期	96,642	16,839	17.3	132.47
2018年3月期	90,945	19,320	21.1	151.84

(参考) 自己資本 2019年3月期第3四半期 16,708百万円 2018年3月期 19,161百万円

(注) 『『税効果会計に係る会計基準』の一部改正』を第1四半期連結会計期間の期首から適用したため、2018年3月期につきましては、当該会計基準等を遡って適用した後の指標等となっております。

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2018年3月期	—	0.00	—	1.50	1.50
2019年3月期	—	0.00	—		
2019年3月期(予想)				1.50	1.50

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 2019年3月期の連結業績予想(2018年4月1日～2019年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益	1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	円 銭
通期	100,000	1.9	700	△60.5	700	△62.4	300	△81.7
								2.38

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無

② ①以外の会計方針の変更 : 無

③ 会計上の見積りの変更 : 無

④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)

2019年3月期3Q	126,267,824 株	2018年3月期	126,267,824 株
------------	---------------	----------	---------------

② 期末自己株式数

2019年3月期3Q	137,261 株	2018年3月期	72,080 株
------------	-----------	----------	----------

③ 期中平均株式数(四半期累計)

2019年3月期3Q	126,131,695 株	2018年3月期3Q	126,197,354 株
------------	---------------	------------	---------------

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料P.02「1.当四半期決算に関する定性的情報(3)連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	2
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	3
(1) 四半期連結貸借対照表	3
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	5
四半期連結損益計算書	
第3四半期連結累計期間	5
四半期連結包括利益計算書	
第3四半期連結累計期間	6
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	7
(継続企業の前提に関する注記)	7
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	7
(追加情報)	7
(セグメント情報等)	7

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第3四半期連結累計期間の当社グループ（当社及び連結子会社）の業績は、主力とするビルサッシを中心とした建材事業分野においては、新設住宅着工戸数は持ち直しの兆しがありますが、競合との厳しい競争が継続しており、事業環境は厳しさを増しております。形材外販事業においては、アルミ地金市況に連動して売上高は伸びましたが、競争激化や諸資材価格の上昇などにより利益面で厳しい状況が続いています。

この結果、当第3四半期連結累計期間の経営成績は、売上高595億8千5百万円（前年同四半期比0.3%増）、営業損失15億9千1百万円（前年同四半期は営業損失7億6千6百万円）、経常損失17億2百万円（前年同四半期は経常損失8億5千7百万円）、親会社株主に帰属する四半期純損失21億1千6百万円（前年同四半期は親会社株主に帰属する四半期純損失6億6千4百万円）となりました。

セグメントの業績は以下のとおりであります。

〔建材事業〕

建材事業においては、住宅建材事業は高断熱商品拡販により堅調に推移しましたが、ビル建材事業における競争激化や商品開発投資による固定費増加等により、売上高は390億3千万円（前年同四半期比2.1%減）、セグメント損失4億4千7百万円（前年同四半期はセグメント損失1億8千万円）と減収減益になりました。

〔形材外販事業〕

形材外販事業においては、アルミ地金市況に連動した販売単価上昇により、売上高は166億7千万円（前年同四半期比5.2%増）と増収になりましたが、競争激化や諸資材価格の上昇により、セグメント損失7千3百万円（前年同四半期はセグメント利益3億1千5百万円）と減益になりました。

〔環境事業〕

環境事業においては、期初計画どおりに進捗しているものの、焼却施設市場の変化による事業環境の厳しさにより、売上高は21億1千5百万円（前年同四半期比4.4%減）、セグメント利益2千4百万円（前年同四半期比7千6百万円減）と減収減益となりました。

(2) 財政状態に関する説明

(資産)

当第3四半期連結累計期間における流動資産は601億2千9百万円となり、前連結会計年度末に比べ66億3千6百万円増加いたしました。これは主に仕掛品が107億3千1百万、その他が16億6千7百万円増加し、現金及び預金が25億4千万円、受取手形及び売掛金が33億2千2百万円減少したことによるものであります。固定資産は365億1千2百万円となり、前連結会計年度末に比べ9億3千9百万円減少いたしました。これは主に有形固定資産が4億1千9百万円、投資その他の資産が4億8千7百万円減少したことによるものであります。この結果、総資産は966億4千2百万円となり、前連結会計年度末に比べ56億9千6百万円増加いたしました。

(負債)

当第3四半期連結累計期間における流動負債は537億9千1百万円となり、前連結会計年度末に比べ77億9千9百万円増加いたしました。これは主に前受金が97億5千2百万円増加し、短期借入金が13億9千5百万円減少したことによるものであります。固定負債は260億1千万円となり、前連結会計年度末に比べ3億7千7百万円増加いたしました。これは主に長期借入金が6億6千7百万円増加し、社債が3億円減少したことによるものであります。この結果、負債合計は798億2百万円となり、前連結会計年度末に比べ81億7千7百万円増加いたしました。

(純資産)

当第3四半期連結累計期間における純資産合計は168億3千9百万円となり、前連結会計年度末に比べ24億8千万円減少いたしました。これは主に利益剰余金が23億6百万円減少したことによるものであります。この結果、自己資本比率は17.3%（前連結会計年度末は21.1%）となりました。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

2019年3月期の連結業績予想につきましては、2018年11月6日の「業績予想の修正に関するお知らせ」で公表いたしました通期の業績予想に変更はありません。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2018年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2018年12月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	14,787	12,246
受取手形及び売掛金	17,098	13,775
電子記録債権	4,049	4,965
商品及び製品	1,205	1,298
仕掛品	11,430	22,162
原材料及び貯蔵品	3,926	2,998
販売用不動産	380	369
その他	1,299	2,967
貸倒引当金	△682	△654
流動資産合計	53,493	60,129
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物	37,969	38,023
減価償却累計額及び減損損失累計額	△30,417	△30,600
建物及び構築物（純額）	7,552	7,422
機械装置及び運搬具	41,968	41,544
減価償却累計額及び減損損失累計額	△36,868	△36,313
機械装置及び運搬具（純額）	5,100	5,230
土地	13,400	13,351
リース資産	2,514	2,451
減価償却累計額	△775	△848
リース資産（純額）	1,738	1,603
建設仮勘定	287	145
その他	11,986	11,657
減価償却累計額及び減損損失累計額	△11,020	△10,786
その他（純額）	965	871
有形固定資産合計	29,044	28,624
無形固定資産		
その他	354	322
無形固定資産合計	354	322
投資その他の資産		
投資有価証券	2,446	2,186
長期貸付金	59	287
繰延税金資産	3,854	3,915
その他	2,832	2,367
貸倒引当金	△1,141	△1,193
投資その他の資産合計	8,052	7,565
固定資産合計	37,451	36,512
資産合計	90,945	96,642

（単位：百万円）

	前連結会計年度 (2018年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2018年12月31日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	14,794	15,377
電子記録債務	5,169	4,755
短期借入金	14,169	12,774
1年内償還予定の社債	600	600
リース債務	270	252
未払法人税等	306	171
前受金	6,627	16,379
工事損失引当金	330	372
資産除去債務	212	—
その他	3,511	3,108
流動負債合計	45,991	53,791
固定負債		
社債	3,500	3,200
長期借入金	4,433	5,100
リース債務	1,629	1,506
繰延税金負債	23	33
再評価に係る繰延税金負債	413	413
退職給付に係る負債	14,905	15,047
資産除去債務	371	370
その他	355	338
固定負債合計	25,633	26,010
負債合計	71,625	79,802
純資産の部		
株主資本		
資本金	1,709	1,709
資本剰余金	816	816
利益剰余金	15,993	13,686
自己株式	△9	△15
株主資本合計	18,509	16,196
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	810	500
繰延ヘッジ損益	0	△0
土地再評価差額金	1,505	1,505
為替換算調整勘定	△435	△415
退職給付に係る調整累計額	△1,227	△1,078
その他の包括利益累計額合計	652	511
非支配株主持分	158	131
純資産合計	19,320	16,839
負債純資産合計	90,945	96,642

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

(四半期連結損益計算書)

(第3四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2017年4月1日 至 2017年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2018年4月1日 至 2018年12月31日)
売上高	59,415	59,585
売上原価	50,541	51,170
売上総利益	8,873	8,415
販売費及び一般管理費	9,639	10,006
営業損失(△)	△766	△1,591
営業外収益		
受取利息	14	11
受取配当金	65	73
受取保険金	3	5
受取賃貸料	24	27
持分法による投資利益	—	45
電力販売収益	118	112
為替差益	80	—
その他	51	66
営業外収益合計	358	343
営業外費用		
支払利息	199	187
手形売却損	8	8
持分法による投資損失	6	—
電力販売費用	103	104
為替差損	—	28
その他	131	125
営業外費用合計	449	454
経常損失(△)	△857	△1,702
特別利益		
固定資産売却益	292	2
投資有価証券売却益	—	12
補助金収入	19	4
負ののれん発生益	—	14
特別利益合計	312	33
特別損失		
固定資産売却損	0	6
固定資産除却損	0	1
固定資産圧縮損	19	4
訴訟関連損失	—	270
損害賠償金	33	—
その他	—	21
特別損失合計	52	304
税金等調整前四半期純損失(△)	△597	△1,973
法人税等	46	135
四半期純損失(△)	△644	△2,108
非支配株主に帰属する四半期純利益	20	8
親会社株主に帰属する四半期純損失(△)	△664	△2,116

(四半期連結包括利益計算書)

(第3四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2017年4月1日 至 2017年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2018年4月1日 至 2018年12月31日)
四半期純損失(△)	△644	△2,108
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	284	△309
繰延ヘッジ損益	4	△0
土地再評価差額金	13	—
為替換算調整勘定	△112	15
退職給付に係る調整額	138	149
持分法適用会社に対する持分相当額	0	1
その他の包括利益合計	328	△143
四半期包括利益	△315	△2,252
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	△346	△2,256
非支配株主に係る四半期包括利益	31	4

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(追加情報)

(「『税効果会計に係る会計基準』の一部改正」等の適用)

「『税効果会計に係る会計基準』の一部改正」（企業会計基準第28号 2018年2月16日）等を第1四半期連結会計期間の期首から適用しており、繰延税金資産は投資その他の資産の区分に表示し、繰延税金負債は固定負債の区分に表示しております。

(保証金返還請求訴訟の和解)

当社の100%子会社である不二倉業㈱は、過去に行っていた産廃処理事業において、産業廃棄物処分場の賃借にあたって、水処理施設及び附帯施設の撤去及びそれに伴う土地の復旧費用として地権者に対し、工事実施保証金5億円を預託しておりました。2016年5月、不二倉業㈱は賃貸借契約期間の満了及び別途水処理施設の設置により保証金の返還請求の条件が整ったため、東京地方裁判所において返還請求訴訟を提起し、法廷での協議を重ねてまいりましたが、2018年7月24日、保証金5億円のうち工事費用2億7千万円を差し引いた2億3千万円の支払を受ける内容にて和解が成立いたしました。

これに伴い、第2四半期連結会計期間において、特別損失（訴訟関連損失）を計上しております。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

I 前第3四半期連結累計期間（自 2017年4月1日 至 2017年12月31日）

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：百万円)

	報告セグメント				その他 (注)	合計
	建材	形材外販	環境	計		
売上高						
外部顧客に対する売上高	39,861	15,849	2,212	57,923	1,491	59,415
セグメント間の内部売上高又は振替高	3	5,284	—	5,288	1,781	7,069
計	39,864	21,133	2,212	63,211	3,273	66,485
セグメント利益又はセグメント損失(△)	△180	315	101	236	52	288

(注) 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、「不動産」、「運送」、「保管管理」、「LED商品」等を含んでおります。

2. 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容（差異調整に関する事項）

(単位：百万円)

利益	金額
報告セグメント計	236
「その他」の区分の利益	52
セグメント間取引消去	99
全社費用(注)	△1,154
四半期連結損益計算書の営業損失(△)	△766

(注) 全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

Ⅱ 当第3四半期連結累計期間（自 2018年4月1日 至 2018年12月31日）

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

（単位：百万円）

	報告セグメント				その他 (注)	合計
	建材	形材外販	環境	計		
売上高						
外部顧客に対する売上高	39,030	16,670	2,115	57,816	1,768	59,585
セグメント間の内部売上高又は振替高	14	5,431	—	5,446	1,823	7,269
計	39,045	22,102	2,115	63,262	3,592	66,855
セグメント利益又はセグメント損失（△）	△447	△73	24	△496	85	△411

（注） 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、「不動産」、「運送」、「保管管理」、「LED商品」等を含んでおります。

2. 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容（差異調整に関する事項）

（単位：百万円）

利益	金額
報告セグメント計	△496
「その他」の区分の利益	85
セグメント間取引消去	102
全社費用（注）	△1,282
四半期連結損益計算書の営業損失（△）	△1,591

（注） 全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。